

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況	平成30年度の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価			
						H29年度	H30年度						
談高 及齡 び者 健、 障相 が談 いに 者関 等す の福 こ祉 と相	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	福祉センターへの来所や電話により相談を受け、相談に応じた職員への引き継ぎ及び関係機関(民生児童委員等)への調整を行った。 職員であいさつ運動を展開し、あいさつから気軽に声をかけたり、掲示物を見ている方に声をかけたり、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺うようにしている。来館者から受付で笑顔で声をかけてもらえるとご意見をいただいた。 障がい者の理解と関心を広げるため掲示板に障がい福祉情報を設置している。	
		地域包括支援センター職員に依頼し相談業務を行う。	-	随時	高齢者世帯等からの健康相談、福祉相談に乗り、必要な時は職員が自宅へ訪問を行う。			-	-	-	-		
		健康相談	12	月1回	健康管理			12	152	11	136		
		新規 障がい者の相談機関の紹介		随時	障がい者の相談機関の情報提供					-	-		
		小計	12	-	-	-	-	12	152	11	136		
		計	12	-	-	10	12	12	152	11	136		
		高 齡 者 の 教 養 講 座 等 の 実 施 に 関 す る こ と	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)
健康づくり 「貯筋体操」	24			月1回	・高齢者のための福祉サービスについて ・高齢者の日常生活での予防策 ・外出の機会づくり、生きがいづくり、健康づくり			12	207	22	378		
健康づくり 「バランスボールを使った体操」	3			年3講座 (1講座:10回)				31	789	30	617		
健康づくり 「リンパ・ドレナージュ」	24			月2回				21	332	22	293		
健康づくり 「3B体操」	24			月2回				22	329	21	374		
健康づくり フォークダンス教室	-			-				13	135	-	-		
新規 健康づくり 健康麻雀	18			月2回						20	428		
健康づくり 詩吟教室	24			月2回				21	119	21	112		
教養知識 折り紙教室	12			月1回				12	119	12	105		
教養知識 パッチワーク教室	24			月2回				24	183	24	156		
教養知識 絵手紙教室	12			月1回				12	130	12	102		
教養知識 シルバークッキング	1			7月11日				1	20	1	25		
介護予防 家族介護教室	1			9月26日				2	27	1	13		
介護予防 認知症サポーター養成講座	1			7月25日				1	14	1	14		
介護予防 認知症予防講座	2			6月26日、3月28日				3	59	2	42		
介護予防 介護予防教室	4			年4回				4	73	(※1)			
小計	174			-		-	-	-	179	2,536	189	2,659	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況	平成30年度の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価				
						H29年度	H30年度							
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	名古屋徳洲会病院の医師等による各種講座の開催 月ごとにテーマ(带状疱疹、関節リウマチ、痛み止めの薬、糖尿病等)を決め 各専門の医師・看護師・薬剤師の講師を病院より派遣(病院の地域公開医療講座と共催)		
		公開医療講座	12	月1回	医師、薬剤師より、生活習慣病等の予防法を学ぶ。			12	250	12	220			
		小計	12	—	—			—	—	12	250		12	220
		計	186	—	—			10	12	191	2,786		201	2,879
地域福祉増進のための講座	1	生きがい健康塾	17	月1回	身近な地域を散策等を行い、閉じこもりを予防			16	368	17	441	・地域福祉協議会、地域包括支援センター主催講座に協力して実施。 高齢者の閉じこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容にして参加者の拡大を図る。 ・アンケート調査、参加者の声を聞きながら内容を検討し実施。健康に関すること、体を動かすことの要望が多い。		
		教養知識ガーデニング講座	4	年4回(四半期ごと)				4	100	4	90			
		小計	21	—	—			—	—	20	468		21	531
		計	21	—	—			10	10	20	468		21	531
地域福祉連携、協議会、包括支援センターとの連携	1		回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・福祉まつりに企画から参加し、地域住民へ福祉センターのPR及び各種団体との連携強化を図る。天候がよく消防車を活用することで児童の参加者は増加した。 障がい者の理解の促進として、福祉センターの1階に笠原地域の施設を紹介するコーナーを設置。来館者に足を止めて見ていただいている。		
		かさばら福祉まつり(地域社協)	1	10月21日	校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			1	300	1	500			
		新規障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を訪問し、施設のチラシや作品を収集の上、施設のガラスケースに展示					—	—			
		小計	1	—	—			—	—	1	300		1	500
		計	1	—	—			10	12	1	300		1	500
福祉関係団体との連携、支援に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・作業室を利用希望者に開放し、印刷製本作業、打ち合わせを実施。また、印刷機の使用方法的説明及び消耗品の補充、機械の点検を行う。 多悠連やサロン、笠原未来プロジェクト等の関係団体に活用されている。 ・イベント事業に伴うポスターを掲示。 ・民生児童委員協議会、多悠連笠原校区連合会に出席し、情報交換等を積極的に行う。現状を把握するとともに課題を共通認識することで地域との信頼関係を築く場になっている。 ・民生児童委員協議会では制度の改正など福祉情報を提供し相談に役立てていただいた。 ・多悠連ではアンケート調査に協力いただき、問合せがあった施設等の利用方法や講座・教室を紹介する。		
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行う。			—	—	—	—			
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2	4月21日、8月31日、9月6日、11月29日、12月3日、1月27日、2月4日	情報交換、協力、支援			2	155	7	300			
		民生児童委員協議会との連携	11	月1回				12	213	12	223			
		小計	13	—	—			—	—	14	368		19	523
		計	13	—	—			10	11	14	368		19	523

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成29年度の実施状況	平成30年度の実施状況	取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H29年度	H30年度			
ボランティアの養成に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・共有スペースに活動紹介や、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動に利用。最新情報の掲示に努め、参加が少ない事業は目立つスペースに掲示する。 ・ボランティア募集コーナーを設置し、福祉ボランティア講座や福祉施設のボランティアの募集を開始した。 ・身近なボランティア活動として、ベルマークや古切手の募集箱を設置し多くの方からご寄付いただいた。 ・夏休みを利用してバリアフリーの研究をする児童や園児の来館を受け入れ、利用者との交流の機会を作る。 ・笠原小学校から車いすの寄贈をいただき、全校集会でお礼とかさはら福祉センターで行っている車いす貸し出し事業について紹介した。車いすは福祉センターで活用させていただいている。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなど、掲示希望団体から出されたものを掲示する。			-	-	
		新規ボランティア情報コーナーの設置		随時	ボランティア募集、ボランティア講座の募集情報を掲示する。					
		新規ベルマーク・古切手募集コーナーの設置		随時	身近なボランティアの参加として募集					
		新規福祉教育		随時	かさはら福祉センターを拠点とした福祉の啓発					
		小計	0	—	—	-	-	-	-	
		計	0	—	—	10	12	-	-	
その他高齢者及び障がい者の福祉増進のために必要	1		回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・コグニサイズを常設。手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるように行っており、各種講座の開始・終了時に利用されている。 ・浴場は、休館日を除く月曜日から金曜日までを一般開放している。その他の施設については、休館日を除き毎日利用出来るように施設を開放し利用促進に努めている。 ・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場となるようにした。職員からも積極的にあいさつ、声かけをしている。 ・要望があった健康情報を毎月テーマを変えて掲示している。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等軽運動の実施			1	20	
		新規健康情報紙発行	12	月1回	健康増進の情報を提供(毎月発行し掲示)					
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間作りの場の提供。			-	-	
		小計	0	—	—	-	-	1	20	
		計	0	—	—	10	12	1	20	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点